

J・A 共済優績 L・A・スマサポを表彰

令和元年度の共済事業における業績が認められ、当 J・A の職員が各賞を受賞しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため表彰式が中止となったため、5月27日(水)に J・A 秋田なまはげ会館で表彰状が授与されました。

受賞した職員は次の通りです。
(カッコ内は令和2年4月1日現在の配属支店)

【優績ライフアドバイザー表彰】

◆優績 L・A 賞(複合)
保坂 友秋(御野場支店)
小柳 卓也(河辺支店)

◆「いえ」部門

保坂 友秋(御野場支店)
押切 広幸(秋田県農協ビル支店)
小柳 卓也(河辺支店)
成田 広樹(新屋駅前支店)

◆「くるま」部門

押切 広幸(秋田県農協ビル支店)

◆年間優績スマイルサポーター賞

西方 杏奈(若美支店)
佐藤 茉莉子(秋田県農協ビル支店)
川邊 奈美(河辺支店)

令和2年度も、皆様のライフプランに寄り添ったサービスの提供と、生活のサポートに努めてまいります。

京極芳郎組合長から表彰状を受け取る職員



NEWS & TOPICS

ブロッコリー目揃え会

6月3日(水)、ブロッコリーの目揃え会が追分低温倉庫で開かれました。生産者や市場関係者ら約20名が参加し、出荷の最盛期を前に収穫前の防除方法や出荷規格、市場情勢などを学びました。

秋田地区営農センターの担当者は、他品目が忙しい時期にもブロッコリーの病害虫防除を徹底するように呼び掛けました。参加者は箱詰めするときの葉の処理方法や玉数、花蕾の状態などを、それぞれの等級品を見比べながら確認しました。

同センター管内では今年度、25名の生産者がブロッコリーを手掛けています。春作は6月中旬に出荷ピークを迎え、秋作は9月から出荷される予定です。



ブロッコリーの葉の処理方法を確認する生産者

大豆播種研修会

6月4日(木)、秋田地区大豆部会の播種研修会が秋田市追分で行われ、約20名が参加しました。播種期のピークを迎え、今後の栽培管理や県内産大豆の販売状況などを学んだほか、長岡営農組合の播種作業を見学しました。

J・A 全農あきた園芸畜産部園芸課からは、令和元年度産の大豆の取引状況や今年度の生産計画、大豆や大豆加工品の需要動向などが報告されました。参加者は播種時期に合わせた「リュウホウ」の播種量や、播種後の適正な土壌処理除草剤の散布方法などを確認しました。今年度は管内でハト被害が見られたため、当 J・A の担当者が注意を促しました。



播種作業を見学して今後の栽培管理を確認しました

